

## 2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 2 日作成)

小委員会名	伝統的木造構法の構造要素設計法小委員会		主 査 名：大橋好光 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (木質構造運営委員会)		委員長名：緑川光正 主 査 名：五十田博
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2016 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	伝統的木造構法の構造要素を対象として、その設計法を作成する。学会の「限界耐力計算による伝統的木造建築物構造計算指針」を追補する。 初年度：改訂項目の整理、担当する耐力要素の割り振りの決定 2 年度：担当する耐力要素の既往の文献の収集と精査 3 - 4 年度：担当する耐力要素の設計法の提案		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有		
	主査：大橋好光 (東京都市大学) 幹事：中尾方人 (横浜国立大学) 藤野栄一 (職業能力開発総合大学校) 委員：河合直人 (工学院大学)、軽部正彦 (森林総合研究所)、坂田弘安 (東京工業大学)、荘所直哉 (明石工業高等専門学校)、北守顕久 (京都大学)、戸田正彦 (北海道林産試験場)、山崎義弘 (東京工業大学)、楠 寿博 (竹中工務店)、山田耕司 (豊田工業高等専門学校)、佐藤弘美 (東京大学)、宮本慎宏 (香川大学)、宇都宮直樹 (近畿職業能力開発大学校)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2015 年度予算	150,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：-	

項 目	自己評価
委員会開催数	8 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 学会の「限界耐力計算による伝統的木造建築物構造計算指針」を追補する形で進めてきた。接合部を中心とする構造要素の設計法の作成をほぼ終了した。
委員会活動の問題点・課題	1. 設計法の作成は概ね終了したが、運用するには、設計事例を作成する必要がある。